

CASBEE京都-新築(2015年版)
 京都産業大学 真理館

■使用評価マニュアル CASBEE京都-新築(2015年版)

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE京都-新築2015 (v.1.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
配慮項目	重点項目等	重点項目に対する全国版評価基準の見直し	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質									
Q1 室内環境									
1 音環境									
1.1 騒音									
1.2 遮音									
1	開口部遮音性能		Dr-45以上の遮音壁	3.0	0.30	3.0	-	3.2	
2	界壁遮音性能			5.0	0.30	3.0	-		
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0	0.20	3.0	-		
4	界床遮音性能(重量衝撃源)			3.0	0.20	3.0	-		
1.3 吸音				3.0	0.20	3.0	-		
2 温熱環境									
2.1 室温制御									
1	室温			3.0	0.50	-	-	2.6	
2	外皮性能			3.0	0.40	3.0	-		
3	ゾーン別制御性			3.0	-	-	-		
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
3 光・視環境									
3.1 昼光利用									
1	昼光率	●自然 A(全国版準用)		3.4	0.30	-	-	3.2	
2	方位別開口			3.0	0.60	3.0	-		
3	昼光利用設備	●自然 B(推奨内容)	X8~X11通り間のトップライト採光	4.0	0.40	3.0	-		
3.2 グレア対策									
1	昼光制御	●自然 B(推奨内容)		3.0	0.30	-	-	3.7	
3.3 照度									
3.4 照明制御									
4 空気質環境									
4.1 発生源対策									
1	化学汚染物質		F☆☆☆☆の内装材を使用	4.0	0.50	-	-	3.7	
2	アスベスト対策			4.0	1.00	3.0	-		
4.2 換気									
1	換気量			3.0	0.30	-	-	3.7	
2	自然換気性能	●自然 A(全国版準用)		3.0	0.33	3.0	-		
3	取り入れ外気への配慮			3.0	0.33	3.0	-		
4.3 運用管理									
1	CO ₂ の監視			4.0	0.20	-	-	3.6	
2	喫煙の制御		館内禁煙	3.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能									
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ									
1	広さ・収納性			3.7	0.40	-	-	3.7	
2	高度情報通信設備対応			3.0	-	3.0	-		
3	バリアフリー計画	●大切 D(独自基準)		3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性									
1	広さ感・景観	●とも C(独自加点)	3.2m≦[天井高]	4.0	0.30	-	-	3.5	
2	リフレッシュスペース			5.0	0.50	3.0	-		
3	内装計画	●自然 D(独自基準)		4.0	-	-	-		
1.3 維持管理									
1	維持管理に配慮した設計		外部金属の大部分にメッキ処理	4.5	0.30	-	-	3.5	
2	維持管理用機能の確保		一定間隔で維持管理用コンセント設置	5.0	0.50	-	-		
3	衛生管理業務			4.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性									
2.1 耐震・免震									
1	耐震性		耐震強度1.25倍で設計	3.5	0.30	-	-	3.5	
2	免震・制振性能			3.8	0.50	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数									
1	躯体材料の耐用年数	●大切 A(全国版準用)		4.0	0.80	-	-	3.5	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔			3.0	0.20	-	-		
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.20	-	-		
4	空調換気ダクトの更新必要間隔			3.4	0.30	-	-		
5	空調・給排水配管の更新必要間隔		屋外露出・厨房排気ダクトにガルバリウムダクトを使用	3.0	0.20	-	-		
6	主要設備機器の更新必要間隔		主要な用途上位3種のうち上位2種にC以上を使用	3.0	0.10	-	-		

2.4 信頼性					3.2	0.20	-	-	
1	空調・換気設備				3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備				3.0	0.20	-	-	
3	電気設備				3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法			設備耐震クラスA	4.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備				3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性					3.6	0.30	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり					3.4	0.30	-	-	
1	階高のゆとり				3.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	●大切	A(全国版準用)	0.1 ≤ [壁長さ比率] ≤ 0.3	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性					4.2	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性	●大切	A(全国版準用)	仕上げ材を痛めることなく更新可能(教室直天部分)	4.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	●大切	A(全国版準用)	天井無しのため、容易に設備更新可能な設計	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	●大切	A(全国版準用)	天井無しのため、容易に設備更新可能な設計	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	●大切	A(全国版準用)	連結型室外機により更新時にバックアップが可能	5.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	●大切	A(全国版準用)	バックアップスペースを計画的に確保した設計	4.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	4.5
1 生物環境の保全と創出		●とも	A'(全国版準用)	神山自然学園構想の策定	4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮		○	C(独自加点) D(独自基準)	風致地区第5種地域	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮					4.5	0.30	-	-	4.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		●とも、 自然	A'(全国版準用)	建物外部の広場・テラスに夜間照明の設置	5.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		●とも	A(全国版準用)	緑地や底によって温熱環境の向上	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制				[BPIm] ≤ 0.90	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用		●自然	A(全国版準用)	トップライトの利用	4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化		●自然	C(独自加点)	BEI 非住宅 0.91 住宅(専有部) -	3.0	0.50	-	-	3.0
					3.0	1.00	-	-	
4 効率的運用					3.0	0.20	-	-	3.0
					3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング					3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制					3.0	0.50	-	-	
					-	-	-	-	
4.1 モニタリング					3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制					3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護					3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水				節水器具・自動水栓を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-	-	
1		●自然	A(全国版準用)	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-	
2				雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減					3.3	0.60	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減		●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		●大切	B(推奨内容) D(独自基準)	深礎杭に高炉セメントB種を利用	5.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		●大切	A'(全国版準用) B(推奨内容)		3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		●自然	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		●大切	A(全国版準用)		3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避					3.0	0.70	-	-	
1				消火剤	-	-	-	-	
2				発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50	-	-	
3				冷媒	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮				ライフサイクルCO2換算スコア=3.2	3.2	0.33	-	-	3.2
2 地域環境への配慮					3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		●とも	A(全国版準用)		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.7	0.25	-	-	
1				雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	
2				汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
3				交通負荷抑制	5.0	0.25	-	-	
4				廃棄物処理負荷抑制	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮					3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	-	
1				騒音	3.0	1.00	-	-	
2				振動	-	-	-	-	
3				悪臭	-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵・日照阻害の抑制					3.0	0.40	-	-	
1				風害の抑制	3.0	0.70	-	-	
2				砂塵の抑制	-	-	-	-	
3				日照阻害の抑制	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制					4.4	0.20	-	-	
1				屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	5.0	0.70	-	-	
2		●とも	B(推奨内容)	適正な照明計画	3.0	0.30	-	-	